

高橋 智和【平成26(2014)年4月～令和2(2020)年3月】



みんな、大好きだよ～！

大好きな子どもたち、保護者のみなさん、地域のみなさん、教職員のみなさん。もうそろそろ異動の年だなあって覚悟していたはずが、いざ決まってしまうと、一つずつ仕事を終えるたびに朱一に別れを告げているようで…さびしくってたまりません。それぐらい、この6年間は、私にとってかけがえのない宝物であることに気づかされました。いっぱい迷惑をかけ、いっぱい悩みました。子どもたちをはじめ、みなさんにいっぱい助けてもらい、気づかせてもらい、学ばせてもらいました。私自身、「初めて朱一の門をくぐった時とは、別人」という自負があります。育ててくださったのは、この6年間で出会ってきた、みなさんです。

私はいつも口癖のように言ってきました。学校なんてところは、色んな教職員がいるからいい、と。運動神経バツグン、ピアニスト、絵がうまい、読書の虫！色んな特技を存分に生かして、子どもたちが輝けるために全力をつくす。中には、肌が合わないって教職員や友だちだって、絶対にいるはず。でも、そうやってたくさんの人とつながって、最終的に子どもたち自らが「あなたのやり方、生き方」を見つける旅をするところが、学校なのではないでしょうか。

そこで、最後にお願いがあります。私を育ててくださったように、これからもぜひ、朱一の教育を担う教職員を、みんなの温かい目で見守り、育てていただきたいのです。遠回りなようでいて、それは必ずや子どもたちにとっていい結果をもたらすはず！失敗を糧にして、応援を励みにして、私自身もこの6年間を誇りに、子どもたちとともに育ちゆく教師であり続けることをお約束します。長いようで短かったこの6年間、本当に、本当に、ありがとうございました。

さて、子どもたちへ。とうとうおわかれです。…さびしくって、たまらん！でもね、先生はみんながせいちょうして、あいにきてくれるのを、ずっと、まっています。だから、まわりの人もじぶんも大せつにしてね。こまったときには、「たかはし先生なら、なんていうかな？」ってかんがえてがんばってくれたら、さいこう！でも、むりはしちゃダメだからね。みんな、これからもずっと、大好きだよ。

(『さよならはいわない』たかはし先生より)